

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災) について

平成 23 年 5 月 13 日 (17:00)

緊急災害対策本部

概要

※数値等に記載した増減は、前報との比較である。

1 地震の概要 (気象庁)

(1) 発生日時 平成 23 年 3 月 11 日 (金) 14 時 46 分頃

(2) 震源及び規模 (推定)

三陸沖 (北緯 38.1 度、東経 142.9 度、牡鹿半島の東南東 130km 付近)

深さ約 24km、モーメントマグニチュード Mw 9.0

(3) 各地の震度 (震度 6 弱以上)

震度 7 宮城県北部

震度 6 強 宮城県南部・中部、福島県中通り・浜通り、茨城県北部・南部、
栃木県北部・南部

震度 6 弱 岩手県沿岸南部・内陸北部・内陸南部、福島県会津、群馬県南部、
埼玉県南部、千葉県北西部

(4) 津波

3 月 11 日 14 時 49 分 津波警報 (大津波) を発表 ※現在は津波注意報も解除

津波の観測値 (検潮所)

・えりも町庶野	最大波	15:44	3.5m
・宮古	最大波	15:26	8.5m以上
・大船渡	最大波	15:18	8.0m以上
・釜石	最大波	15:21	4.1m以上
・石巻市鮎川	最大波	15:25	7.6m以上
・相馬	最大波	15:51	9.3m以上
・大洗	最大波	16:52	4.2m

2 政府の主な対応 (初動対応)

3 月 11 日 14:50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集

15:00 緊急参集チーム協議開始

15:14 緊急災害対策本部設置 (本部長: 内閣総理大臣)

15:37 第 1 回緊急災害対策本部開催

「災害応急対策に関する基本方針」策定

(以後、5 月 6 日までに合計 16 回開催)

首相官邸HPより引用

<http://www.kantei.go.jp/saigai/pdf/201105131700jisin.pdf>

3 被害状況等

(1) 人的被害

ア 死者	<u>15,012</u> 名	(+71名)
イ 行方不明	<u>9,506</u> 名	(-376名)
ウ 負傷者	<u>5,282</u> 名	(+3名)

(2) 建築物被害

ア 全壊	<u>88,873</u> 戸	(+5,294戸)
イ 半壊	<u>35,495</u> 戸	(+3,835戸)
ウ 一部損壊	<u>256,242</u> 戸	(+12,581戸)

4 被災者支援の状況

(1) 避難者 115,514名 (-2,664名)

(2) 仮設住宅等の状況

応急仮設住宅の着工戸数

31,084戸着工済み (うち10,571戸完成)、1,781戸着工予定

国家公務員宿舎、公営住宅等の受入可能戸数 53,945戸

(うち8,621戸提供済み)

(3) 被災者の救助活動状況

救出等総数 26,708名 (±0名)

5 部隊派遣等の状況

(1) 警察庁

ア 広域緊急援助隊等 (活動中の人員) : 約4,500名

イ 広域緊急援助隊等 (これまでに派遣された総数) : 約35,100名

(2) 消防庁

ア 緊急消防援助隊実派遣部隊 (活動中の人員・隊数) :

32隊 118名

イ 緊急消防援助隊実派遣部隊 (これまでに派遣された人員・隊数) :

約7,500隊 約28,400名

(3) 海上保安庁

ア 活動中の対応勢力 : 巡視船艇等 54隻、航空機 19機、特殊救難隊等 16名

イ これまでの対応勢力総数 :

巡視船艇等 3,279隻、航空機 1,169機、特殊救難隊等 1,174名

(4) 防衛省

約106,450名の派遣規模(これまでの最大派遣規模 約107,000名)

ア 陸上自衛隊 約70,000名

イ 海上自衛隊 約14,400名

ウ 航空自衛隊 約21,600名

エ 原子力災害派遣部隊 約450名

(5) 厚生労働省

ア 医師等の派遣 133チーム

イ 保健師派遣 132チーム

6 海外支援の受入れ状況

(1) 米軍による支援

ア 空母・艦船 約 20隻

イ 航空機 約160機

ウ 人員 約20,000名以上

(2) 外国による支援

ア 海外支援 156ヶ国・地域及び39の機関が支援を表明

イ 救助隊 28ヶ国・地域・機関から受入れ(現在3ヶ国1機関が活動中)

ウ 救援物資 53ヶ国・地域・機関から受入れ

エ 寄付金 79ヶ国・地域・機関から受領